

演題登録関連システム

[illegible]

1

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

オンライン演題査読システム

(オンライン演題評価システム)⇒配布資料のみ

グラフィカルアブストラクトの収集・表示機能

UMIN収集演題抄録の医中誌への取り込み

オンライン学術集会開催機能

2

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

演題:オンライン演題査読システム

3

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

各ステップの作業内容

ステップ1. 査読画面の作成

ステップ2. 査読の開始

(査読者による評価)

ステップ3. 査読の終了

ステップ4. 学術集会の終了

4



Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

1-1 設定画面へアクセス

管理者ページから、「演題査読」をクリックして、下記の設定画面にアクセスします。
そして、「新規作成」をクリックします。



5

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

1-2 査読者の画面に表示させる登録内容や評価項目の設定

一面タイトル	査読者の画面に表示される画面のタイトル
評価項目の数	査読者に評価してもらいたい内容を項目ごとに分けて登録。(例) 独創性等
コメントの最大文字数	コメント欄に入力可能な最大文字数(全角2,000文字まで)
著者情報の表示	査読者の画面に、担当論文の著者、所属の情報を表示するかどうかを選択
査読画面の表示項目	題名、抄録本文、著者、所属以外で、査読画面に表示させたい項目を選択



6

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

ステップ1. 査読画面の作成

1-3. 査読者の登録画面へアクセス

「査読演題・査読者編集」をクリックします。

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

ステップ1. 査読画面の作成

1-4. 1演題あたりの査読者数の設定

1 演題あたりの査読者数を設定してください。

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

ステップ1. 査読画面の作成

1-5. 査読者の登録

「演題査読の管理」をクリックします。1名づつ査読者を追加します。
* 査読者の一括登録も可能です。

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

ステップ1. 査読画面の作成

1-6. 査読者の割り当て

査読区分:
査読を行う必要のない演題については、こちらで「査読なし/採択」または「査読なし/不採択」を選択してください。無条件に採択または不採択として扱われます。

査読者:
演題に対し、査読を行ってもらう査読者を選択してください。査読者は査読者数の上限まで割り当てを行ってください。査読者を上限まで割り当てることができない場合には、管理用UMIN ID等を見つけて査読者として登録いただくことで割り当てを被らせることも可能です。

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

ステップ2. 査読の開始

2-1. 査読の開始(1)

査読画面を公開状態にし、査読者が評価を入力できる状態にします。査読画面の公開後は、査読画面の編集や査読者の割り当てが行えなくなりますので注意してください。「査読状態管理」からStep 2「査読開始・採択処理」をクリックします。

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

ステップ2. 査読の開始

2-2. 査読の開始(2)

査読を開始します。「査読開始」をクリックして確定してください。

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

ステップ2. 査読の開始

2-3. 査読の開始(3)

以下の画面のように、査読者の割当てが行われていない演題がある場合は確定ボタンが表示されません。必ず各演題の上限まで査読者を割当ててください。何らかの事情で、査読者を上限まで割当てることができない場合には、管理者用UMIN ID等を見掛け査読者として登録いただくことで割当てを完了させてください(査読者の割当ては被らせることも可能です)。

割当てることができない場合、管理者用UMIN ID等を見掛け査読者として登録して、割当てを完了させてください(査読者の割当ては被らせることも可能です)

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大病院医療情報ネットワーク

ステップ2. 査読の開始

2-4. 査読画面の査読者への案内

査読画面を査読者に展開し、評価を入力いただくようにメールで案内してください。同日の学術集会では、すべての査読者につき、査読用のURLは共通です。「査読状態管理」をクリックして、画面下部に表示されたURLが査読者用アクセス先です。

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大病院医療情報ネットワーク

ステップ2. 査読の開始

2-5. 査読者の評価状況の確認方法

「査読状況参照と訂正・代理入力」をクリックして、査読状況参照の「本番用」と画面を進み評価状況を確認することができます。評価を入力されていない査読者は、背景が黄色となっています。なお、「訂正・代理入力」より査読者の代理で、管理者が評価を入力することも可能です。

評価が未入力の査読者

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大病院医療情報ネットワーク

ステップ3. 査読の終了

3-1. 査読者への査読画面提供の終了

「査読状態管理」、「Step 3「査読終了」、「査読終了」とクリックして査読者への査読画面提供を終了します。査読終了後は、査読者本人による評価入力が出来なくなりますので注意してください。管理者による評価入力(代理入力)は引き続き可能です。

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大病院医療情報ネットワーク

ステップ3. 査読の終了

3-2. 採択処理(1)

評価データをダウンロードして、採択情報の登録を行います。採択情報の登録・更新は、演題登録システムの管理画面での処理となります。評価データのダウンロードは、「査読状況参照と訂正・代理入力」、評価データダウンロードの「本番用」、「ダウンロード開始」とクリックして行います。

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大病院医療情報ネットワーク

ステップ3. 査読の終了

3-2. 採択処理(2)

採択情報の登録は、演題登録システムの管理画面での作業となります。管理画面で、「採択処理」、「処理を進める。」、採択情報の「入力・修正」、「全演題」とクリックしてください。

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大病院医療情報ネットワーク

ステップ4. 学術集会の終了

4. 学術集会の終了

演題査読システムにおいて、状態を「学術集会終了」にします。
「査読状態管理」、Step 4「学術集会終了」の順にクリックします。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

演題: グラフィカルアブストラクト 収集・表示機能

20

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

グラフィカルアブストラクトとは何か？

- 通常の抄録
文章による論文・プレゼンテーションの要約
- グラフィカルアブストラクト
視覚的に表現された論文・プレゼンテーションの内容・主張

利点: 論文・プレゼンテーションの内容・主張したいことを直感的に明確に伝えることができる。全体の内容を順を追って要約するというよりは、端的に主張したいことを表現する場合が多い。

21

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

通常の抄録とグラフィカルアブストラクト

通常抄録の単独使用
⇒○

通常抄録とグラフィカルアブストラクトの併用
⇒○

グラフィカルアブストラクトの単独使用
⇒× 通常行わない

22

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

1. 演題の要旨に近い形のグラフィカルアブストラクトの例

- 演題名: 臨床試験登録の意義と他の学問領域への普及について
- 著者: 木内貴弘、奥原剛、岡田宏子、後藤英子、香川由美、常住亜衣子
- 解説:
 - 臨床試験登録とは何かについて図示
 - 臨床試験登録の意義について図示
 - 他の分野での臨床試験登録の普及に方策を述べている。

全体に文章の抄録の内容に近く、図と比較して、文字の数が多い。

23

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

1. 演題の要旨に近い形のグラフィカルアブストラクトの例

演題名: 臨床試験登録の意義と他の学問領域への普及について
著者: 木内貴弘、奥原剛、岡田宏子、後藤英子、香川由美、常住亜衣子

【はじめに】医学領域における臨床試験登録の概要、意義、境界について解説し、他の学問分野への拡大等について考察する。

【臨床試験登録の概要】臨床試験とは、臨床試験の研究計画の概要を第三者機関へ事前登録して、一般公開する制度である。海外の主要な医学雑誌が、臨床試験登録を論文投稿の要件としたことから広まった。日本では、介入がある医学研究の場合には、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、臨床試験登録が事実上義務付けられている。臨床試験法により厚生労働省に報告が必要な研究は国立保健医療科学院が運用するJRCTへ、それ以外はUMINに臨床試験登録がなされている。臨床試験登録では各国語での登録も可能であるが、英語での登録は必須であり、英語部分はWHOでデータベース化されて、インターネットで公開されている。

【考察】臨床試験登録のメリットとして、後付け解析の防止、出版バイアスの解消、市民への情報提供等があげられている。後付け解析とは、研究データが発生した後に研究計画を変更し、有利な結果が出るように研究計画を変更することである。出版バイアスとは、有意差が出なかった研究が出版されない傾向にあるため、出版された論文だけ読んでいるとバイアスが生じることである。臨床試験登録により、出版されなかった研究の追跡が可能となる。臨床試験登録では、研究計画の不正な事後変更の予防は可能であるが、研究データ自体の改ざん防止はできない。このため、臨床試験登録に加えて、症例登録データベースの運用や各医療機関等の間でデータの相互査査が必要である。

医学分野で臨床試験登録制度が始まった理由は、臨床試験の結果が、患者・市民の健康や研究機関・産業界の経済的利益に直結するため、その研究不正防止が莫大な倫理的、経済的に重要な意味を持つからである。しかしながら、介入のある前向き実証研究において、後付け解析防止や出版バイアスの解消は、医学以外の学問分野でも非常に重要なことであるため、今後は幅広く医学以外の学問領域への普及が望ましいと考える。臨床試験登録の普及のきっかけは、学術雑誌が論文の登録にあたり、臨床試験登録を義務付けたことであった。ヘルスコミュニケーション学際学会情報学下の学会誌でも、今後、前向き介入研究については臨床試験登録を要することが望ましいと考える。

24

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

2. 主張したい結論を端的に表現するグラフィカルアブストラクトの例(図と文字を併用)

・ 演題名: 当教室におけるマスコミへのプレスリリース・記者発表の経験とこれに関する考察 —プレスリリースは、記者目録＝読者目録で！

・ 著者: 木内貴弘、奥原剛、岡田宏子、後藤英子、香川由美、常任亜衣子

・ 解説:
プレスリリース際には、研究者目録でなく、記者目録＝読者目録で主張のしかたを工夫すべきであると端的に主張。図と文字を併用し、文字数が多めである。

当教室におけるマスコミへのプレスリリース・記者発表の経験とこれに関する考察
プレスリリースは、記者目録＝読者目録で！

研究者目録

第1位: 優れた情報システムの構築 (6件)
⇒ 世界記、世界誌、国際標準⇒大きな反響を呼ぶだろう

第2位: ヘルスコミュニケーションの研究成果等 (4件)
⇒ 健康・医療に貢献⇒一定以上の反響を呼ぶだろう

第3位: 研究不正防止 (2件)
⇒ 日本初だが海外の二重発表⇒ある程度の反響があるだろう

記者目録＝読者目録

第1位: 研究不正防止 (2件)
⇒ 不正率への高い関心⇒NHKと多くの大学新聞を含めて報道

第2位: ヘルスコミュニケーションの研究成果等 (4件)
⇒ 健康・医療への関心⇒一部の大学新聞を含めて報道

第3位: 優れた情報システムの構築 (6件)
⇒ 身近でない、抽象的⇒NHK、大学新聞での報道なし

25

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network
大病院医療情報ネットワーク

2. 主張したい結論を端的に表現するグラフィカルアブストラクトの例(図と文字を併用)

演題名: 当教室におけるマスコミへのプレスリリース・記者発表の経験とこれに関する考察 —プレスリリースは、記者目録＝読者目録で！
著者: 木内貴弘、奥原剛、岡田宏子、後藤英子、香川由美、常任亜衣子

【はじめに】当教室では、過去に12回のプレスリリースを実施し、そのうち7件については、記者発表も行った。これらの経験とこれに関する考察について発表を行う。

【プレスリリース等の経験】プレスリリースした内容は、主に研究不正防止のための情報システム(2件)、ヘルスコミュニケーション関係の研究成果等(4件)、その他の情報システム等(6件)の3つに大きく区分が可能であった。研究不正防止のための情報システムは、UMIN臨床試験登録システム、UMIN症例データベース化を担い、NHK総合、複数の大手新聞社の報道を含めて、多くの報道がなされた。次いで、ヘルスコミュニケーション関係のコロナ下での外出呼びかけ方法の効果、妊婦の不安、及び免疫接種健康食品広告がかえって不健康をもたらすことは、新聞、Webサイト等で一定規模報道された。これに対して、臨床研究の国際標準、インターネット会議、臨床研修・臨床教育用の情報システムはほとんど注目されなかった。特に臨床研究の国際標準の実践については、規格を策定した米国の先行して、世界で初めて、臨床研究データ収集を標準化したものにも関わらず、ほとんど報道されなかった。また臨床研修・臨床教育のデータ収集システムも、医療機関や大学単位でなく、国レベルで統一して運用されるシステムは、世界初であり、その実現には、政治的にも資金的にも技術的にも大きな困難が伴っていたのにほとんど報道がされなかった。

【考察】プレスリリースの対象となる研究やイベントを選択すること、及びプレスリリースの内容、表現を検討するにあたっては、自分たちの目録ではなく、記者の目録に立つ必要がある。そして、記者の目録は読者の目録を強調に意識したものであることを十分に配慮する必要があると考えた。具体的には、研究不正防止関係のシステムが報道された背景には、権威的なものの不正に関する読者の高い関心が想定された。また高齢化社会の中で健康への関心は、一般に高いため、ヘルスコミュニケーション関係の研究成果への関心も一定以上あると考えられた。報道がほとんどされなかったものは、研究者自身は価値があるように見えても、内容が抽象的、専門的で読者からはイメージしにくいものにいとと考察された。

【結論】プレスリリースする内容の選択やその表現にあたっては、マスコミの記者、読者目録に立つ必要がある。

26

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network
大病院医療情報ネットワーク

3. 主張したい結論を端的に表現するグラフィカルアブストラクトの例(図のみを使用)

・ 演題名: 日本国内及び海外のヘルスマーケティング関連の医学文献数の推移について

・ 著者: 木内貴弘、秋山美紀、瓜生原葉子、奥原剛、中山健夫

・ 解説:
PubMedと医学中央雑誌の検索結果の図示のみによって、英語圏に比べて、日本では、ソーシャルマーケティング、ヘルスマーケティングが非常に遅れていると端的に主張。文字はほとんど用いていない。

日本のヘルスマーケティングの研究・活用は、海外より大きく遅れている!!!

PubMed文献数
"social marketing"で検索

医中誌文献数
「ソーシャルマーケティング」

PubMed文献数
"health marketing"で検索

医中誌文献数
「ヘルスマーケティング」

文献数は、実質的にゼロ

27

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network
大病院医療情報ネットワーク

3. 主張したい結論を端的に表現するグラフィカルアブストラクトの例(図のみを使用)

演題名: 日本国内及び海外のヘルスマーケティング関連の医学文献数の推移について
著者: 木内貴弘、秋山美紀、瓜生原葉子、奥原剛、中山健夫

【はじめに】通常の商業マーケティングの知見、技法、経験を活用して、人々の行動を社会や本人に望ましい方向に変えることを意味するヘルスマーケティングの概念は、1970年代にフィリップ・コラーより提唱され、現在、海外で大きな注目を集めている。ソーシャルマーケティングの中でも健康・医療領域は最も大きな領域と考えられており、健康・医療領域のソーシャルマーケティングはヘルスマーケティングと呼ばれている。発表者は、国内外の医学文献データベースにみられるソーシャルマーケティング、ヘルスマーケティング関連の文献数の推移について調査を行ったので報告を行う。

【方法】国内については、医学中央雑誌Webデータベースにおいて、「ソーシャルマーケティング」、「ヘルスマーケティング」というキーワードで検索を行い、各年毎の文献数について調査した。海外については、PubMedにおいて、同様に「health marketing」、「social marketing」というキーワードで検索を行い、各年毎の文献数について調査を行った。

【結果】国内では、「ソーシャルマーケティング」で合計134件の文献がヒットし、初出は1994年で、近年は、全体として、減少もしくは停滞傾向にあった。「ヘルスマーケティング」では、合計1件しかヒットせず、しかも検索された1件がヒットした理由は、発表者の所属名にこのキーワードが含まれていたためであり、実質的には0件であった。海外では、各年「social marketing」で11,464件が検索され、断片的に増加を繰り返しながらも、全体として着実な増加が続いている。また「health marketing」で165件が検索され、同様に着実に増加を続けている。

【考察】ヘルスマーケティングは、海外で確実に医学文献数を増やしているが、国内での文献数は著しく少ないと、増加傾向にないことが明らかになった。内外で公表された文献の具体的な内容の分析や分類は、今後の課題である。ヘルスマーケティングは、今後有望な研究領域であるが、海外に比べて、日本を大きく出遅れており、国や研究機関、研究者等によるこの領域の推進が望まれる。国内のヘルスマーケティング領域の研究推進のために、日本ヘルスマーケティング学会の設立とその学術基金の開催は、国内の研究者に対する広範的役割も含めて、重要な意義を持つと考えられる。

28

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network
大病院医療情報ネットワーク

UMIN グラフィカルアブストラクトとは何か?

・ 通常の抄録
文章による論文・プレゼンテーションの要約

⇒

・ グラフィカルアブストラクト
視覚的に表現された論文・プレゼンテーションの内容・主張

利点: 論文・プレゼンテーションの内容・主張したいことを直感的に明確に伝えることができる。全体の内容を順を追って要約するというよりは、端的に主張したいことを表現する場合が多い。

29

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network
大病院医療情報ネットワーク

UMIN 欧米におけるカラーのグラフィカルアブストラクト普及の背景

・ 学術情報の電子化
(オンラインジャーナル、オンライン抄録集)

・ インターネットの高容量化
(既に2K、4Kの動画像すらインターネットでやり取り)

⇒

・ カラーが重要なグラフィカルアブストラクトの利活用を推進
⇒紙の雑誌では、カラー印刷は非常に高い
(紙の雑誌でも多くの図表が掲載されているが、通常はモノクロ)
⇒電子出版にはカラー画像提供に予算面での制約がまったくない。

30

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network
大病院医療情報ネットワーク

UMIN 演題登録者へのグラフィカル
アブストラクトの案内(1)

○グラフィカルアブストラクトについて

グラフィカルアブストラクトとは、演題の要旨(要旨、結論、主張したいこと)を1枚の静止画像で表現したものです。グラフィカルアブストラクト内に図や表を複数入れることも可能です。文字の抄録と違い、一目で発表の概要が把握できるので、非常に便利で、参加者を演題に引き付けるのに役立ちます。海外で既に普及が始まっており、今後日本でも普及が見込まれます。今大会では、後述のテンプレートの大きさと解像度の縦長のグラフィカルアブストラクトを使用します。ヘルスコミュニケーション学関連学会機構が提供するMicrosoft PowerPointテンプレートをを用いて作成し、PNGまたはJPEGで保存します(図、イラスト主体の場合にはPNG、写真主体の場合にはJPEGをご利用ください)。抄録集用の大きさとなるようにテンプレートを設定していますので、必ずテンプレートをダウンロードした上で作成してください。具体的なPNGまたはJPEGでの保存法はこちらをご参照ください(サンプル作成例1、サンプル作成例2)。尚、最終的に抄録本文とグラフィカルアブストラクトが組み合わされて、抄録集ではこちらのサンプルのように表現されます。

31

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN 演題登録者へのグラフィカル
アブストラクトの案内(2)

○グラフィカルアブストラクト作成の具体的手順
(演題登録者への説明の例)

1. 所定のPowerPointテンプレートをを用いてグラフィカルアブストラクトを作成(主催者側が予めグラフィカルアブストラクトのPDF表示の大きさに合わせて設定したPowerPointのテンプレートを用意して、演題登録者に使ってもらう。テンプレートの大きさ・縦横は変更しないように依頼。)
2. PNG(図が主な場合)またはJPEG(写真が主な場合)で保存
3. UMINオンライン演題登録システムに文章の抄録と一緒にアップロード

32

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN ヘルスコミュニケーションウィーク2022
におけるアンケート調査 (n=51)

1) グラフィカルアブストラクトがあつてよかったか?

資料提供: 阿部恵子先生(金城学院大学)

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN ヘルスコミュニケーションウィーク2022
におけるアンケート調査 (n=51)

2) 今後も継続してグラフィカルアブストラクトがあると良いか?

資料提供: 阿部恵子先生(金城学院大学)

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN 今後の課題

- ・ 各学会へのグラフィカルアブストラクトの普及広報
⇒多くの学会でのグラフィカルアブストラクトの収集・配信が望まれる。
- ・ 各研究者のグラフィカルアブストラクト作成への習熟
⇒より直観的にわかりやすく、説得力のあるグラフィカルアブストラクトが自作できるように各自で習熟が望まれる。
- ・ グラフィックアブストラクトの自作と外注
⇒お金がある場合には、プロに外注すれば、よりよいものが作れるが、プロに頼む場合であっても、自作に習熟している人の方が賢い発注ができる。

35

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN まとめ

- ・ グラフィカルアブストラクトの活用により、より直観的でわかりやすい医学学術情報の交流が可能となる。
- ・ UMINオンライン演題登録システムに、グラフィカルアブストラクトの収集・配信機能を標準機能として追加した。
- ・ 上記は、今後の日本におけるグラフィカルアブストラクト普及のための重要なインフラとして役立つことが期待される。

36

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN

UMINオンライン演題登録システムで収集した演題抄録の
医学中央雑誌データベースへの取り込みに関する共同研究

医中誌への取り込みの運用実証テスト(案)について

東京大学医学部附属病院
大学病院医療情報ネットワーク(UMIN)センター
特定非営利活動法人 医学中央雑誌刊行会(医中誌)

37

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN 概要

研究者

UMIN

オンライン演題登録システム

1. 抄録集作成
(冊子体・PDF)

2. オンライン学術集会機能
(学術集会参加者向けの
演題抄録情報のWeb提供)

医中誌Web

3. 超早期データベース化

38

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN UMINにおける
学術集会演題抄録情報収集の現状

- 1996年より、30年近い学術集会演題抄録のオンライン収集システムの運用実績
- 年間に448件の医学系学術集会の演題抄録をオンライン収集(2023年)
- 年間に収集する医学系演題抄録総数は、128,807件(2023年)

39

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN 医中誌における
学術集会演題抄録情報収集の現状

- 年間約3,500誌の定期刊行物から情報を収集、うち約3割(約1,000誌)が学術集会抄録集、うち約3割(約300誌)がUMINオンライン演題登録システムを利用
- 文献数だと年間約35万件、うち6〜7割が学術学会抄録の情報、うち約4〜5割がUMINオンライン演題登録システムを利用
- 現在は個別に学術集会抄録集(紙媒体・電子媒体)を収集している。電子データで入稿される情報は数%に過ぎない。
- 学術集会抄録については、収録しているのは書誌情報のみ(原著論文等については、学会の許諾を得て著者抄録を収録している場合もある)

40

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN UMIN・医中誌共同研究

- UMINでオンライン収集した学術集会演題抄録情報を医中誌への自動取り込みにより、
- 早期における学術集会演題抄録情報のユーザへの提供を目指す

1. 演題抄録の登録 2. 演題抄録の収集 3. 演題抄録の医中誌への取り込み 4. 医中誌による演題抄録の検索・参照

41

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN UMINで収集の演題抄録の
医中誌への取り込みのメリット(1)

【学会にとってのメリット】

- 医中誌等への掲載の対価として、書誌情報・抄録の掲載料収入を得る
- 学術集会抄録が早期・確実に医中誌に収録されることにより、学会・学術集会の認知度が向上する
- 学術集会抄録が医中誌に収録されることにより、学術集会終了後も演題抄録情報が電子的に永久保存され、利活用可能となる

42

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMINで収集の演題抄録の 医中誌への取り込みのメリット(2)

【医中誌にとってのメリット】

- ・ 学術集会演題抄録情報を早期・確実に収集できる
- ・ 学術集会演題抄録情報の掲載により医中誌の付加価値が高まる

【UMINにとってのメリット】

- ・ 学会・学術研究活動の支援というUMINの公的な目的が実現される
- ・ 医中誌の付加価値向上の対価として一定の手数料収入が見込める

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

43

UMIN収集の演題抄録の 医中誌への取り込みの概要

抄録集配布をもって発表された見做すか、学術集会当日の発表をもって発表と見做すかという2つの立場が想定され得る。前者の場合は【A】、後者の場合は【B】が必要である。

学会側の作業	UMIN側の作業	医中誌側の作業
1. 演題抄録の登録	1. 演題登録システムの準備・運用	
2. 採択処理してダウンロード【O】 ・演題抄録内容の修正 ・一部演題以外の追加 ・抄録、著者の見直しによる不随伴化 ・重複分の削除		
3. 抄録集の作成・配布 抄録集で配布分をアップロード【A】	2. 抄録集掲載の演題抄録の抽出	1. 抄録集掲載の演題抄録の取り込み
4. 当日の学会発表 演題の発表分の指定又はアップロード【B】	3. 当日発表された演題抄録の抽出	2. 発表された演題抄録の取り込み

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

44

UMIN収集の演題抄録の 医中誌への取り込みの運用実証テスト(案)の課題

- 運用実証テストの運用開始(2025年10月より)
⇒学会側に演題書誌情報・抄録の医中誌への掲載を許諾してもらえるか。また許諾の条件があるとすればどのようなものか。
- 抄録集配布時点及び当日の発表時点の演題抄録情報について、その差異を学会側からUMINシステムへフィードバックすることが必要となる。UMIN側の現行システムでは、採択処理時【O】の情報しか得られないが、UMIN側で抄録集配布時点【A】と当日の発表時点の情報【B】を入力する仕組みを構築する。
⇒学会側が抄録集配布時点及び当日の発表時点の情報を入力してくれるか？
⇒情報の入力は円滑にできるか。
- 基調講演やシンポジウム等の一般演題以外の演題では、UMIN演題登録システムで収集していない場合がある。
⇒【A】または【B】の時点で、学会側で別途入力してもらえるか。
⇒情報の入力は円滑にできるか。

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

45

運用実証テスト(案)FAQ

- ・ 書誌情報のみ(学会抄録本文を除く)の提供は可能か？
→ 可能です。
- ・ 書誌情報のみの場合、利用料をいただけるか？
→ 正式運用後は、抄録本文をご提供いただいた場合に限り、医中誌から提供件数に応じた利用料をお支払いする予定です。
※利用料の金額については現在検討中です。
ただし、書誌情報のみの提供は利用料の支払い対象外となります。
- ・ 同じ学会で学術集会ごとに掲載の有無を変えられる？
→ 可能です。
学術集会単位で調整できます。

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

46

運用実証テスト(案)FAQ

- ・ 個別の演題ごとに書誌情報・抄録本文の掲載許可を指定できるのか？
→ 不可です。
演題ごとに細かく指定することはできません。
- ・ 抄録集配布時点と当日の学会発表時点のどちらの情報を提供するのか？
→ 当日の学会発表時点の情報を要望しますが、抄録集配布時点の提供でも可能です。
- ・ 運用テストで入力した書誌情報・抄録本文は医学中央雑誌に掲載されるのか？
→ 医中誌で確認したうえで、収載可能です。

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク

47

演題:オンライン学術集会開催機能

Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク



概要

- ・ オンライン演題登録システムを利用の学会集が、
- ・ 追加料金なしで、
- ・ 参加者のみがアクセスできる参加者専用ホームページが作れるサービス
- ・ 参加者用IDとパスワードは、氏名、メールアドレスから自動作成し、自動メール送信可能

49

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University Hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク



参加者専用画面のサンプル

第12回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会
オンデマンド会場へようこそ 参加者専用ホームページ

<<<一般公開専用ホームページ

セッション情報	
セッション名	
●青年・学生とのコミュニケーション zoom-01 このセッションの概要を見る	
座長 田中 浩 (京都大学文学部言語学専攻)	ID zoom-01
司会 田中 浩 (京都大学文学部言語学専攻)	パスワード zoom-01
演題番号	演題名より検索可能
2-01K 田中 浩	若手・学生とのコミュニケーションの重要性について
2-02K 田中 浩	若手・学生とのコミュニケーションの重要性について
2-03K 田中 浩	若手・学生とのコミュニケーションの重要性について
2-04K 田中 浩	若手・学生とのコミュニケーションの重要性について
2-05K 田中 浩	若手・学生とのコミュニケーションの重要性について
●青年・学生とのコミュニケーション zoom-02 このセッションの概要を見る	
座長 田中 浩 (京都大学文学部言語学専攻)	ID zoom-02
司会 田中 浩 (京都大学文学部言語学専攻)	パスワード zoom-02
演題番号	演題名より検索可能
2-01K 田中 浩	若手・学生とのコミュニケーションの重要性について
2-02K 田中 浩	若手・学生とのコミュニケーションの重要性について
2-03K 田中 浩	若手・学生とのコミュニケーションの重要性について
2-04K 田中 浩	若手・学生とのコミュニケーションの重要性について
2-05K 田中 浩	若手・学生とのコミュニケーションの重要性について

50

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University Hospital Medical Information Network

大学病院医療情報ネットワーク